

ある日の育児日記から

(81)

佐藤 和代



有が少しずつ、文字を覚え始めました。あれ、読めるのかな、と思ったのは数か月前。たばこのポスターの「ウルトラマイルド」という文字を見て、「あつ、ウルトラマン！」と叫んだのです。やれやれ、男の子だなあ。

圭が文字を覚えたときは、まっとうに(?)ひらがなからだったので、何となく子どもはみんなそうだと思っていました。小学校でもひらがなから教えるしね。でも有は、かたかなの次は、「川」とか「田」とか、漢字を覚えてしまった。まあ、子どもは、文字にはひらがなとかたかなと

漢字がある、なんてこと知らないわけだから、覚える順番がめちゃくちゃなのは当然なのかも。圭はどうしてひらがなからだったのか、不思議なくらいです。

「これ何て読むの?」「○○って書いて」とうるさくまとわりつくのは圭も有も同じ。しばらくこれが続きそうで、面倒ですが楽しみでもありません。

圭は「み」にてんでん「び」って読む?



小2→
圭は交換日記を始めました。うわーなつかし!!

なんて聞いてきて私をうならせましたが、有もやっぱり同じことを聞いてくる。「ねえ、む」にてんでん「ぶ」でしょ?」...うーん、そうねー、日本語って不思議だね。